

議会だより

ひらゝずみ

第183号

令和6年4月26日

定例会3月会議
定例会4月会議

介護の仕事が大好きです

ミャンマーから平泉にやって来た、二人のお嬢さん。
特別養護老人ホーム「いこいの結」の介護職員となっ
て半年、お年寄りの方々にも可愛がられています。

(関連記事 P18)



●主な内容

定例会4月会議 初議会

新体制がスタート.....2

定例会3月会議

地域に活気を

くらし直結型予算.....6

一般質問

ことが聞きたい

10議員が町の考えを問う.....10

平泉
いいな
シリーズ16

「平泉っていいな」シリーズは、UJリターンした方を特集しています

議 会 構 成

新体制がスタート

～開かれた議会・信頼される議会をめざして～

高橋拓生議長・ 升沢博子副議長に決定

任期満了に伴う平泉町議会議員選挙が3月31日に執行されました。
4月19日には初議会が開かれ、議長や副議長、常任委員会などの議会構成、会期を令和6年4月19日から12月26日まで252日間に決定しました。

あいさつ

このたび議員各位のご推挙により議会議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

私たちの生活に多大な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症も落ち着きをみせており、町民の皆様もかつての日常生活を徐々に取り戻していくものと思います。

二元代表制の一翼を担う平泉町議会といたしましても、行政への監視機能を果たし、公正・公平な議会運営に努めるとともに、町民の皆様の負託に応えるため、町政の充実と発展、住民福祉の向上に向けて、誠心誠意取り組む所存です。

結びに、皆様におかれましては、今後とも、平泉町議会へのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



総務教民常任委員会

委員長 升沢 博子

総務教民常任委員会は、一般行政や財政、教育・民生・保健衛生などを所管するほか、これらに関する陳情や請願なども審議します。

- 副委員長 千葉多嘉男
- 委員 氷室 裕史
阿部 圭二
真箒 光幸
佐藤 孝悟



広報広聴常任委員会

委員長 氷室 裕史

広報広聴常任委員会は、ひらいずみ議会だよりを作成編集します。広聴活動を推進するため、令和6年4月15日より常任委員会となりました。

- 副委員長 大友 仁子
- 委員 小笠寺 享
千葉多嘉男
阿部 圭二
升沢 博子



産業建設常任委員会

委員長 三枚山光裕

産業建設常任委員会は、産業及び建設にかかわる事項を所管し、建設水道・農林振興・観光商工など広範囲で、陳情・請願なども審議します。

- 副委員長 大友 仁子
- 委員 小笠寺 享
高橋 伸二
千葉 勝男



議会運営委員会

委員長 佐藤 孝悟

議会運営委員会は、文字通り議会運営に関わる事項を所管し各常任委員長など5名で構成され、議長がオブザーバーとして参加します。

- 副委員長 大友 仁子
- 委員 氷室 裕史
三枚山光裕
升沢 博子



議会改革推進会議

委員長 高橋 伸二
副委員長 佐藤 孝悟

議会改革推進会議は、議会改革の推進委員に関する協議及び議会基本条例の検証を行います。

- 委員 小笠寺 享
大友 仁子
氷室 裕史
三枚山光裕



町監査委員

町民の目線で、しっかりと監査して参ります。



一部事務組合等 議員を選出

共通する課題を市町村の枠を超えて処理する一部事務組合等の議員が4月19日の定例会4月会議で選任されました。

町政調査会



会長 千葉勝男議員
副会長 高橋伸二議員

一関地区 広域行政組合議会



真箒光幸議員 千葉多嘉男議員

岩手県後期高齢者 医療広域連合議会



升沢博子議員

議員の公約

議席
番号
10

期数
…
8期



千
葉
勝
男

誇りを持てる平泉の実現。郷土愛を育てる教育環境と、安心感のある長寿健康社会の形成を図ります。

議席
番号
7

期数
…
3期



真
籠
光
幸

子育て世代を応援し、高齢者に寄り添う施策を提言します。

議席
番号
4

期数
…
3期



氷
室
裕
史

小規模農家の継続支援、必要とされる子育て支援、居住に適した条例改正を中心に取り組む。

議席
番号
1

期数
…
1期



小
笠
寺
享

休耕地対策を基本とした農業経営の安定化と教育福祉の充実化等、輝く平泉の町づくりに取り組みます。

議席
番号
11

期数
…
4期



升
沢
博
子

1、若者が新しい仕事に挑戦できる町に。
2、子ども達の公園づくりと子育て予算の増額を要求していきます。

議席
番号
8

期数
…
3期



高
橋
伸
二

地方自治の根底には住民福祉の増進という大前提がある。住民ファーストで臨みます。

議席
番号
5

期数
…
3期



阿
部
圭
二

①学校給食費の完全無償化、
②高齢者に補聴器購入の補助、
③若者に家賃補助を目指します。

議席
番号
2

期数
…
1期



千
葉
多
嘉
男

安心して住み続けられる町を目指し、子育て支援・福祉の充実・産業振興に取り組めます。

議席
番号
12

期数
…
3期



高
橋
拓
生

「みなさまの思いを、町政に。」平泉のまちづくりのために誠心誠意取り組みます。

議席
番号
9

期数
…
8期



佐
藤
孝
悟

町民の福祉向上と子供の安全・子育て支援の充実を図り、暮らしやすい生活環境を創ります。

議席
番号
6

期数
…
3期



三
枚
山
光
裕

議会報告を継続して行い、農業への支援や子育てと高齢者福祉の充実に力を尽くします。

議席
番号
3

期数
…
2期



大
友
仁
子

「小さな声を大切に」をもとに女性の視点を生かし町民の皆様の声を町政へ届けて参ります。

地域に活気をくらし

一般会計 歳入	自主財源(28.0%)					依存財源(72.0%)	
	令和6年度 51億円	8.1億円	6.1億円	3.7億円	3.2億円	5億円	21.8億円
	町税	その他	県支出金	国庫支出金		地方交付税	町債(借金)
令和5年度 47.7億円	8.0億円	6.1億円	3.2億円	2.9億円	3.5億円	21.6億円	2.3億円
	自主財源(29.6%)			依存財源(70.4%)			

くらし

- ◆公共交通事業 1,410万円 (634万円増額)
- ◆行政区地域課題対応事業 (地域活力推進費) 500万円
- ◆町道整備 (樋の沢大佐線、衣関線) 1億138万円
- ◆町道、橋梁長寿命化事業 1億1,940万円
- ◆住宅・建築物省エネ改修推進事業 85万円 (新)
- ◆高齢者運転免許自主返納者支援事業 20万円 (新)
- ◆一関地区広域行政組合分担金・負担金 (環境衛生分) 1億8,563万円



わたしも一言
戸河内の玄関口がきれいに
橋にひび割れがあり、心配していた。
戸河内の玄関口が綺麗になり有り難うございます。
千葉正一さん(平泉字東郷)

産業

- 観光PRに注力を**
- ☑ 中尊寺金色堂建立900年受け入れ環境整備事業補助金285万円余の使途は。
 - ☑ 記念グッズを作成し、無料配布をして観光PRへとつなげる。また900年記念ののれん事業に参加する商店街店舗への補助も行う。

- 産業**
- ◆中山間地域等直接支払交付金事業 6,849万円
 - ◆多面的機能支払交付金事業 4,890万円
 - ◆観光客受け入れ態勢整備補助金 196万円
 - ◆中尊寺金色堂建立900年受け入れ環境整備事業 285万円



わたしも一言
防災対策に役立つ
単身世帯で高齢なので、防災行政無線は情報受信にとっても役に立っています。
滝沢 忠さん(長島字新田)

- 防災・安全**
- ◆ポンプ付消防自動車更新事業 3,200万円
 - ◆防災マップ作成事業 310万円

防災・安全

- 防災行政無線保守点検は**
- ☑ デジタル化に伴う防災行政無線の不感地域の解消は。
 - ☑ 受信障害の家がある場合は解消する。

直結型予算

一般会計 歳出	令和6年度 51億円							
	7.4億円	12.4億円	4.4億円	3.2億円	5.8億円	8.4億円	4.5億円	4.9億円
	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	土木費	教育費	公債費	その他
令和5年度 47.7億円	7.1億円	11.4億円	4.2億円	3.2億円	5.3億円	7.1億円	4.5億円	4.9億円

予算の詳細な内容は、「広報ひらひら4月号」をご覧ください。



主な事業

少子・定住化対策

- ◆地域おこし協力隊事業 2,880万円、◆地域おこし協力隊起業・事業承継支援事業 300万円 (新)
- ◆次世代技術者育成事業 (プログラミング) 1,100万円、◆移住支援事業 200万円
- ◆移住定住促進家賃補助 24万円 (新規)、◆若者・移住者空き家住まい支援事業補助金 180万円 (新)、◆出産・子育て応援金 400万円、子育て応援在宅育児支援金 180万円 (新)

子育て支援

- ◆子育て支援センター事業 708万円、母子保健運営事業 384万円
- ◆放課後児童対策事業 2,236万円、保育所・幼稚園 ICT システム導入 494万円 (新)

幼稚園・保育所のデジタル化は

- ☑ 児童福祉施設費の備品購入の内容は。
- ☑ 幼稚園・保育所に ICT システム導入のためのタブレット購入費である。デジタル化により園の管理、園児の状況を的確に把握できる。



子育て支援課



わたしも一言
地域おこし協力隊に期待
地域おこし協力隊の活動が、産業、雇用、交流を生み出すことを期待します。町をより良くするために、皆で関わり応援できたらと思います。
山平和子さん(長島字矢崎)

地域おこし協力隊を増員

- ☑ 地域おこし協力隊業務委託料が昨年の2倍となった要因は。
- ☑ 昨年度3名の隊員を、令和6年度は6名に増やすための増額である。

教育

指定管理の更新は

- ☑ 指定管理の更新時期はいつになるのか。
- ☑ シダックス大新東ヒューマンサービス(株)が管理をしているが、今年度に更新時期を迎えるため、新たに募集をかける。

教育

- ◆学習交流施設指定管理料 5,647万円
- ◆特別支援教育支援員 (12人) 2,342万円
- ◆電子黒板導入事業 3校 1,352万円 (新)
- ◆平中屋内運動場 LED 化事業 1,676万円 (新)
- ◆長島球場スコアボード改修事業 3,000万円 (新)
- ◆英語教育の充実 1,488万円
- ◆史跡保存修理事業 (無量光院跡、観自在王院跡) 1億2,526万円

少子・定住化

議会と町民、共に考える予算

町の事業に対する町民の声は様々です。議員と一緒に考え、満足度の高い事業へ！

議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

議会定例会3月会議（3月5日～14日）

議案番号	議案及び内容	開 議 ページ
条例		
第2号	個人番号の利用等に関する条例の一部改正 (法律の改正及び独自利用事務の運用を開始するための改正)	
第3号	職員定数条例の一部改正 (町長部局を1名増、教育委員会部局1名減に職員定数を見直す)	
第4号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正 (期末手当の引き上げ(0.1月分))	
第5号	一般職の職員に対する特殊勤務手当支給条例一部改正 (新型コロナウイルス感染症対策業務に係る防疫等作業手当の廃止)	
第6号	道路占用料徴収条例の一部改正 (岩手県の改正に伴い、占用料を改定)	
第7号	水道事業及び簡易水道事業給水条例の一部改正 (水道法の権限の一部が、厚生労働大臣から国土交通大臣へ移管されることによる改正)	
第8号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 (関係条例の整理)	
第25号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 (会計年度任用職員に勤勉手当の支給を行うための制定)	
事件案件		
第9条	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 (戸河内地区の橋梁修繕工事費6483万円の増額に伴う変更)	
第10条	町道の路線認定 (滝の沢林線の町道認定)	8
議員発議		
第1号	議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例 (期末手当の引き上げ(0.1月分)のための一部改正)	8
第2号	議会委員会条例の一部改正 (広報広聴常任委員会の設置のための一部改正)	3
第3号	北朝鮮による日本人拉致問題の一刻も早い全面解決を求める意見書	
第4号	政治資金規正法疑惑の徹底解明を求める意見書	8
第5号	インボイス制度の廃止を求める意見書	8
第6号	決議「子育て支援に関する提言書」	16
第7号	決議「社会基盤整備、農業振興策及び観光・産業振興策に関する提言書」	16
第8号	決議「景観計画」及び付随する条例の改定に向けた提言書」	16

議会定例会1月第2回会議（令和6年1月29日）

議案番号	議案及び内容	開 議 ページ
令和5年度補正予算		
第1号	一般会計(第9号) (物価高騰対応支援給付金3,025万円、相談支援事業消費税補償金201万円など3,465万円の増額)	

議案番号	議案及び内容	開 議 ページ
令和5年度補正予算		
第11号	一般会計(第10号) (人件費8,416万円の減額、橋梁維持費3,104万円の減額、予防費6,299万円減額など2億6,007万円の減額)	
第12号	国民健康保険会計(第3号) (保険給付費等の減額など2,716万円の減額)	
第13号	後期高齢者医療会計(第3号) (広域連合納付金の減額など406万円の減額)	
第14号	健康福祉交流館会計(第3号) (施設・設備補修工事費202万円の減額、人件費133万円の減額など691万円の減額)	
第15号	町営駐車場会計(第4号) (一般会計への繰り出し金330万円減額、除雪費110万円の減額など544万円の減額)	
第26号	町営駐車場会計(第5号) (駐車場案内システム改修事業の繰越明許・466万円)	
第16号	下水道事業会計(第2号) (収益的支出500万円の減額、資本的支出77万円の減額)	
第17号	水道事業会計(第2号) (収益的支出190万円の増額、資本的支出296万円の減額)	
令和6年度予算		
第18号～第24号	一般会計、特別会計、下水道事業会計、水道事業会計予算	6～8
第27号	一般会計(第1号) (会計年度任用職員の勤勉手当など4,310万円追加)	
第28号	国民健康保険会計(第1号) (会計年度任用職員の勤勉手当など75万円追加)	
第29号	健康福祉交流館会計補正予算(第1号) (会計年度任用職員の勤勉手当など375万円追加)	
第30号	町営駐車場会計補正予算(第1号) (会計年度任用職員の勤勉手当など38万円追加)	
人事案件		
同意1号	固定資産評価審査委員(丸山 芳広さん 再任)	
同意2号	職員懲戒審査委員(千葉 光社さん 新任)	
諮問1号	人権擁護委員の諮問(菅原 吉紀さん 再任)	
諮問2号	人権擁護委員の諮問(八重樫 結花さん 再任)	

議会定例会4月会議（令和6年4月19日）

議案番号	議案及び内容	開 議 ページ
報告(専決)		
第1号	町税条例の一部を改正する条例の専決処分	
第2号	令和5年度一般会計補正予算(第11号)の専決処分	
令和6年度補正予算		
第31号	一般会計補正予算(第2号)	
人事案件(諮問)		
同意	監査委員の選任同意(千葉多嘉男議員)	3

賛否の公表

賛否のあった議題

議案	議員名												賛成	反対	採決結果
	大友 仁子	稲葉 正	猪岡 須夫	氷室 裕史	阿部 圭一	三枚山 光裕	真電 光幸	高橋 伸二	佐藤 孝悟	千葉 勝男	升沢 博子	高橋 拓生			
第3号 職員定数条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第4号 特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第11号 令和5年度一般会計補正予算(第10号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第14号 令和5年度健康福祉交流館会計補正(第3号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第18号 令和6年度一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第21号 令和6年度健康福祉交流館会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第27号 令和6年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第29号 令和6年度健康福祉交流館会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
発議第1号 議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
発議第4号 政治資金規正法疑惑の徹底解明を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	9	2	可決
発議第5号 インボイス制度の廃止を求める意見書	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	5	6	否決

議長交際費を公表します

- 1月分 37,460円
(各団体新年会・県議との懇談会出席負担金など)
 - 2月分 5,000円 (新酒まつり会費)
 - 3月分 8,000円 (企業懇談会会費など)
- ※詳細はHPをご覧ください。



復興の一助として

全議員で構成する町政調査会は、能登半島被災地への義援金5万円を日本赤十字社へ寄付しました。

議会定例会6月会議のお知らせ

6月6日(木)～13日(木)開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。
※傍聴にお越しください。

町民の福祉向上を第一に

すべての会計予算について、審査意見を付して、可決すべきものと決定しました。



予算委員長

氷室 裕史

- 人口減少および少子化対策は喫緊の課題であり、定住化促進・子育て支援施策の一層の拡大を図りたい。
- 財政の運営にあたっては、安定的な自主財源の確保に努めるとともに、基金の取り崩しを慎重にされたい。住民福祉を念頭に行財政改革を進め、効率的・効果的な事務執行に努めること。
- 金色堂建立900年を契機とする観光客の受け入れ体制を万全にし、町内への経済波及効果を増大すべく取り組まされたい。
- 農業振興施策は、小規模農家へも配慮した施策の推進を図られたい。
- 健康福祉交流館については、構造的課題を解決し、健全経営に取り組まれたい。

令和6年度会計別予算

会 計	予算額	
一 般 会 計	50億9,900万円	
国民健康保険会計	7億9,710万円	
後期高齢者医療会計	1億250万円	
健康福祉交流館会計	8,520万円	
町営駐車場会計	6,650万円	
下水道事業会計	資本的	2億6,889万円
	収益的	2億2,629万円
水道事業会計	資本的	2億9,330万円
	収益的	5億6,553万円
合 計	75億431万円	

※単位未満を四捨五入しています。

反 対	討 論	賛 成
反対 猪岡 須夫議員 削れるところは削るべき 当町の財政はひっ迫している。将来のために町は少しでも蓄えておくべきである。	発議第1号 議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成 高橋 伸二議員 議論を果たした内容である 既に協議会で討議を経て、合意形成し発議されたものである。受忍し難いなら、自身の返納も視野に入れた姿勢を見せるべきである。
反対討論なし	発議第4号 政治資金規正法疑惑の徹底解明を求める意見書	賛成 三枚山光裕議員 国民は怒り心頭である 一部の国会議員が私腹を肥やすことは断じて許されるものではない。
反対 大友 仁子議員 平等で適切な納税を 消費税を適切に納める制度である。また、小規模事業者にとっては、これまでの不合理な取引の慣習を見直す機会にもなると考えられる。	発議第5号 インボイス制度の廃止を求める意見書	賛成 三枚山光裕議員 事業者いじめではないか 小規模・零細事業者の事務負担が過大となり、経営を圧迫するのではないかと。

どうなったあの請願？

請願 第3号

長島字滝の沢地区内の「町道認定されていない生活道路」の早期の「町道認定」と「道路改良」を求める請願



令和5年6月15日に審査の結果、全員賛成で採択されました。



町道認定 議決

たき さわはやしせん
「滝の沢林線」

請願者の声

長年の念願であった町道認定が決定され、大変に嬉しく思います。しかし、防災面では、かなり危険な道路なので、早急な道路改良を求めます。



15区区長 千葉健一さん



まごめ 眞筆 光幸 議員



子育て世帯に紙おむつ等を

答 町の事業としては考えていない

町民福祉課 近隣市町の取組み情報や国の動向を踏まえ

問 1日あたり交換する紙おむつは平均7枚として1ヶ月4600円かかる、週2回の燃えるゴミの日に出すゴミ袋も負担が大きい。ここに支援が必要ではないか。

町長 国の事業を活用した「出産・子育て応援給付金」を利用して欲しい。町としては検討しない。

問 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、紙おむつやゴミ袋の購入助成を検討できないか。



おむつちょうだい

町長 町全体で祝福する気持ちを込めて、商品券にお祝いを印刷する。

問 出産祝い金には誰のためにあるのか。育てる家庭が、より使い勝手のいい制度の見直しが必要ではないか。

町長 現行のままです。見直しは検討していません。

問 出産祝い金の見直しとして全額現金がコンビニドラッグストア、スーパーでも使える共通商品券を追加すべきではないか。

町長 取組んでいきたい。

ヤーコン活用の進捗は

答 堆肥や燃料への活用も視野へ



まごめ 眞筆 光幸 議員



問 昨年度買い取られたヤーコンは活用されているのか。また買取単価が大幅に下落したという話も聞こえてくるが見解

町長 既に地域おこし協力隊がある。ヤーコンの調達は今年度に8名が栽培する予定であり、収量は昨年度並みが見込まれている。

問 ヤーコンを活用した堆肥化、燃料化等の実証実験はどのような形で行うのか、またヤーコンの調達先は。



ヤーコン畑

町長 農林振興課が若干、土まみ取りをする等の対応もあった。

問 行政の対応としてあまりに不満足ではないか。地域おこし協力隊にすべてを委ねるのではなく行政もサポートすべきである。ヤーコンに付着した土まで買い取ったのか。

町長 キロ216円で買い取る方針であったが、150円で買い取ることもあった。品質の良いたものは塩漬けにしてはいるが、品質のあまり高くないものは残っているのが現状である。

町長 何を伺う。

ここが聞きたい!

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。

P11 眞筆 光幸

- 子育て支援施策の拡充
- 住民への周知の方法や災害時の備え
- 拉致問題の教育教材活用

P11 千葉 勝男

- 防災対策
- 空き家等対策の推進
- 人口減少問題
- 地域おこし協力隊への委託事業の進捗状況

P12 大友 仁子

- 町の活性化に向けての取り組み
- タブレットを活用した子どもたちの相談窓口の設置

P12 高橋 伸二

- 「地域防災計画」を補完する、新たな防災対策の取り組み

P13 升沢 博子

- 町長施政方針の次世代育成支援対策及び移住定住対策
- 第3期教育大綱の策定

P13 氷室 裕史

- 農業の抱える諸課題
- 成人のひきこもり

P14 三枚山 光裕

- 町長施政方針演説と新年度予算案
- 教育行政方針演説

P14 猪岡 須夫

- 財政調整基金残高に係わる今後

P15 阿部 圭二

- 中小事業者の支援
- 自衛官募集による名簿提供
- 学校の空調設置（冷房）

P15 佐藤 孝悟

- 国立博物館誘致の現状と今後の動向
- 現状から見た景観条例の在り方

※各議員の質問ページの氏名隣りのQRコードから、個人の質問の内容をご覧になれます。

政務活動費収支報告

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、平泉町では平成28年度から交付されています。議員一人当たり月額5千円、年間で6万円を上限として議員個人に支給されます。

各議員の政務活動費の収支報告書は閲覧することができます。 閲覧場所 平泉町議会事務局 閲覧時間 午前8時30分から午後5時15分まで (土、日、祝日を除く)

議席	氏名	収入額							政務活動費支出額計	政務活動費精算額(6万円上限)	政務活動費返納額
		政務活動費補助金	調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費			
1	大友 仁子	60,000				9,972		23,150	33,122	33,122	26,878
2	稲葉 正	60,000	2,660	41,540		9,972			54,172	54,172	5,828
3	猪岡 須夫										
4	氷室 裕史	60,000				9,972			9,972	9,972	50,028
5	阿部 圭二	60,000				16,792			16,792	16,792	43,208
6	三枚山光裕	60,000					93,742		93,742	60,000	0
7	眞筆 光幸	60,000		41,540		18,372			59,912	59,912	88
8	高橋 伸二	60,000			6,215	51,372		4,128	61,715	60,000	0
9	佐藤 孝悟	60,000		41,540		9,972			51,512	51,512	8,488
10	千葉 勝男										
11	升沢 博子	60,000		66,840		6,150			72,990	60,000	0
12	高橋 拓生	60,000	32,380			24,879		10,765	68,024	60,000	0
	合計	600,000	35,040	191,460	6,215	157,453	93,742	38,043	521,953	465,482	134,518

※会議費の支出はありませんでした。 ※収入額を超えた支出は、自己資金で負担しています。



まさむね ひろこ 議員



人口減対策の決め手は

答 人材育成と住まいの確保で

問 再び首都圏へ人口が一極集中している。特に岩手県からの女性の転出が著しい。県は女性のITスキル養成プログラ

町長 長島製作所と連携しながら、既存の施設を活用した、デジタル人材育成に引き続き取り組む。

問 長島製作所が、一関市に開校した小学生から高校生まで学べるプログラミング教室を主とした、学習サポートを展開する複合型スクールプロットを、当町にも誘致する考えはないか。

ムに新年度取り組む。当町も情報提供、受講の支援などをするべきではないか。

まちづくり推進課長 プログラ

は女性も積極的に受講している。情報提供などで受講を促しデジタル人材の増加を図りたい。

問 移住・定住促進には住まいの確保が急務である。空き家バンクの進捗は。

まちづくり推進課長 令和5年度はPR効果で登録件数が増え、今後、複数の成約に繋がる見込みである。



人材育成で連携する町内企業

企業誘致で町の活性化を

答 PR活動をしている



おおとも さとこ 議員



問 地域活性化のためには、大手企業の誘致で大きな効果が出ると思われるが、町としての取組みは。

まちづくり推進課長 開発の主体となる民間事業者と引き続き協議を進めている。

問 町が誘致したい業種は何か。

町長 県と町の補助制度を活用できる製造業やソフトウェア業の誘致を進めたい。

問 企業が移転するのには、土地などについて、町はどのように考えているのか。



早急に新たな工業団地を

大震災火災への事前策は

答 「感震ブレーカー」の設置・普及に取り組む



たかはし しんじ 議員



問 町の防災計画策定の「目的」は、「町民の生命・財産を災害から保護する事である。」

問 防災計画の見直しは、過去の災害に学び、事前の防災対策に力点を置くことが求められている。その一つとして「感震ブレーカー」の普及と設置が「電気火災」防止に有効ではないか。

問 平泉の文化財などを保護することは当然であるが、それ以上に町民の生命・財産を守ることが優先されるべきではないか。

町長 防災計画の見直しは、町民の誰が見てもわかりやすい計画にすることが肝心だ。指摘内容を検討する。

問 「感震ブレーカー」の普及に取り組む。



電気火災を防ぐ「感震ブレーカー」

小規模農家を守る施策は

答 継続農業機械支援事業を行う



ひろなか えいすけ 議員



問 担い手不足の解消のため、担い手候補者の発掘に努めるという話があったが、具体策は。

町長 話し合いの中でそういった方がいて、了承を得ることができれば可能であると考えている。

問 農業の担い手不足問題の要因と解決策をどう考えているのか。

町長 担い手が不足する要因の一つに高齢化による離農が挙げられる。経営が困難になり、機械の更新時に離農したという話もある。対応策として継続農業機械支援事業や小規模基盤整備事業で支援を行っている。

問 県外の町村で、成人のひきこもりが人生のリスクを減らすきつかけとして農業の担い手として活躍したという事例がある。当町にも適応できるのではないか。

課長 当該集落に候補者になれそうな人材を洗い出している。困難な場合は他の地区から担い手を呼び込んでいきたい。



小規模農家の今後は



阿部 圭二 議員



物価高騰の業者への支援は

答 何が課題か把握し検討していく

町長 コロナ禍に入った令和2年と同様の支援をしている。昨年度は7月から9月までエネルギー価格高騰対策負担緩和支援金を支給している。県の支援で売上減少の対象事業者10万円の支給をしている。「キャッシュレス決済活用事業補助金」で20%のポイントを還元する事業である。事業

問 一関市では物価高騰で苦しんでいる事業者に対して一関市中小業者等事業継続緊急支援交付金(第2弾)を実施している。平泉町でも同様の支援をすべきではないか。

町長 一関市の中小業者は県の支援も含めて法人10万円、個人5万円を3度受け取ることができている。昨年10月からはインボイス制度が始まって業者は苦労している。検討してはどうか。

町長 わが町での支援時期が早かったこともあるが、一関市では2月いっぱいまでの支援となっており。国の支援金も今後あると思うが、何が課題か把握しながら検討していきたい。



物価高騰に支援を

発掘調査で工期長く建設費がかさむ

答 埋蔵文化財の保護に理解を



三枚山光裕 議員



問 移住・定住促進と掲げているが、住宅建設にかかる発掘調査の長期化や、建設費の増加などの理由で、町外に移住することが懸念されている。認識と対応策は。重要である。

町長 住宅建設の手続きで苦労をかけている。多くの遺跡等を有する町として埋蔵文化財の保護は重要である。

問 発掘が要因で町民が町外に移転したという認識はあるのか。

町民福祉課長 転出は、就労の関係が主である。家族で移



観自在王院跡第15次調査報告会

文化遺産センター館長 国、県で違うが、許可が出るのに概ね1カ月。発掘期間が1〜2カ月である。

問 発掘が要因で転出は事実である。住む人がいなくなつては元も子もない。発掘にかかる期間

転するとする場合、何らかの理由があると考ええる。

今後の国立博物館の誘致は

答 要望活動を継続したい



佐藤 孝悟 議員



問 多賀城市が震災後に東北歴史博物館を国立博物館化できないか要望しているがその具体的な内容は。

町長 国立博物館の誘致には立地、資料収集、研究対象などの多岐に渡る要件を満たす必要があるが、今後も国に要望活動を継続していきたい。

問 国立博物館は子どもたちが国宝の美術・芸術品に触れられる何物にも代えがたいものである。当町では今後どのように誘致活動を推進していくのか。

町長 これまで国内において、東京、京都、奈良、福岡に設置されている。また、沖縄県では日本初の自然史での国立博物館の誘致が展開されている。

問 国立博物館の設置状況と全国の誘致活動の状況は。

町長 復興のシンボルとして国立博物館化への取り組みは示されたが、現在は多賀城南門の復元整備に方針転換し、国立博物館誘致の活動はしていない。



日本初の国立博物館(東京)

基金残高の今後は

答 現在8億で、4年後には3億になる



猪岡 須夫 議員

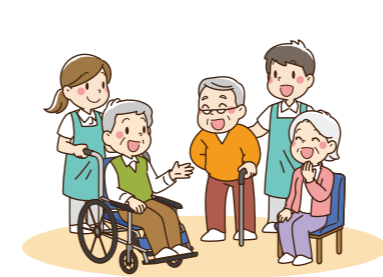


問 財政調整基金(貯金)残高が3億から4億最低限確保すべきであるが、直ぐ割込むのでは。

町長 大型の事業が突発的に生じなければ、確保できない。

問 住民の福祉向上のため、サービスが低下しないよう、財政調整基金の水準を、維持すべきではないか。

町長 住民サービスの低下を招かないように財政調整基金の確保は、重要と考えている。



町長 町民からの要望など、様々な行政課題への対応や、社会情勢の変化への対応は理解されるものと考ええる。

問 人口減が進み、高齢化率が上がる中で、町の職員数が減らないことを町民がどう受け止めていると考えるか。

町長 繰入金金の抑制に努める。

町の未来を見据えて

1月18日、区長との懇談会が行われました。各区長から町の現状と課題について積極的に発言がありました。

景観条例が町の足かせになっていないか

- カーポート1つ思い通りには建てられない景観条例は改めるべき。
- 若者は制限の厳しい平泉を出て、近隣市町村に出て行くという現実がある。

議員定数・報酬を真剣に考えるべきでは

- むかしは定数も報酬も今より多かった。
- 町のためにしっかり働いてくれるのであれば、増額しても問題ないのではないか。



山積する課題に対応を

- 高齢化で働き手のいない農地は荒廃していくのではないか。
- 目先のことではなく、町の将来のことを真剣に話し合ってほしい。
- 防災と災害時の対応等の勉強会も積極的にしていくべき。



常任委員会所管の事務事業について調査を行い、町政に関する提言書をまとめました。今後の予算措置ならびに町政執行に取り組みられるよう、町長へ提言書を手渡しました。

調査期間 令和4年4月～令和6年3月

総務教民常任委員会

子育て世代へ望まれる支援施策を

提言1

子どもの居場所の確保

町内病児病後児保育施設と休日の子どもたちの居場所の確保のため、運動公園等の早期の施設整備に向けた協議を進められたい。

提言2

給食費の完全無償化

子育て世帯の経済的負担の軽減策として、中学校までの給食費完全無償化の実施に取り組みられたい。

提言3

相互の情報発信施策の充実

単一方向の情報提供ではなく、相互の考えを共有できるよう各世代間に対応する話し合いの機会を設けることを望む。

産業建設常任委員会

景観計画の見直しに期待する

提言1

「社会基盤整備、農業振興、観光・産業振興」について

社会基盤整備

町道未認定、未舗装などの生活道路の整備を求める。また、水道事業の広域化は料金や安全性の確保の問題もあり慎重な議論が必要である。

農業振興

若手就農者が希望をもって農業に取り組めるよう支援を。また、鳥獣被害は拡大しており、対策を強化されたい。

観光・産業振興

平泉の文化遺産の新たな価値による観光施策として策定した「観光振興計画」の具現化を図るよう提言する。

提言2

「景観計画」及び付随する条例の改定に向けた提言

景観計画は、運用上の課題、街並みや社会情勢の変化を踏まえ、将来を見据えて見直す時期と考える。現行の景観計画、景観条例の内容は継承しつつ、住民意識・住民感情との整合を図りながら、地域の主体性を尊重し、住民の意向を景観形成に反映させるために改定を求めるものである。

議会だより モニター コーナー

ワークショップの 特集が良かった

182号についてご意見をいただきました

小岩義典さん

ワークショップが特集で掲載され、住民が生活に直結していることへの不満や満足感などの意見が出たことはよかった。町内業者として産業振興の記事も欲しい。

中学生が議会を傍聴して、いろいろなことを感じたことが掲載されていました。とても良いことだと思った。

眞籠智子さん

鈴木節郎さん

表紙は複数の町民が掲載されたほうが良いのでは。高齢者にとっても読みやすい記事にしてほしい。

一般質問が面白いと思う。また、農業の担い手が少なく、活性化のためにも、農業にかかわる人のことを記事に取り上げてほしい。

浅利清廣さん

河野綾華さん

表紙は若い方が頑張っている姿がフォーカスされるのは、周りも元気になり、応援したくなる。特集記事は議会の取り組みがわかりやすくしていい。

表紙の紹介 「地域の優しさに感謝しています」

ヤンゴン出身のヌエーナンダーハンさん、マングレー出身のタジントエーさんは、長島の住まいから毎日30分かけて「いこいの結」まで通っています。二人はミャンマーの日本語と介護の学校で学んできました。

とても明るい二人は学校で知り合った友達同士です。地域の方からは野菜やリンゴが届き、その優しさにとても感謝しています。

ずっと住み続けて家族を呼び寄せたいヌエーナンダーハンさん、将来はミャンマーに戻って介護専門学校の先生になりたいタジントエーさん。

「いこいの結」は二人がいることで、より明るくなったような気がします。



あとがき

私も議会だより旧編集委員会は、改選期に当たり、最後の編集作業となりました。

4年間、町民の皆様と議会をつなぐ情報紙として、「町民の声」や表紙、「頑張る人」に掲載させていただき、お願ひなどで、大変お世話になりました。

また、議会改革の環境として直接ご意見をうかがうための「議会だよりモニター」にもご協力いただき心から感謝いたします。

令和6年度からは、より一層、町民の声を聴く姿勢「広聴」の役割も加わります。

新しい広報・広聴常任委員会となりまして、町民の皆様にも、町民の皆様にも、添う姿勢で広報・広聴

活動に当たりたいと思いますので、ご理解ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

升沢博子

編集スタッフ

委員長	水室 裕史
副委員長	大友 仁子
委員	小笠 寺 享
委員	千葉 多嘉男
委員	阿部 圭二
委員	升沢 博子

自治功労表彰受賞

議会議員として長年にわたり地方自治の発展に寄与された功績が認められ、自治功労表彰を受賞されました。



全国町村議会議長会表彰(千葉勝男議員)(中央)
 全国町村議会議長会表彰(佐藤孝悟議員)(右)
 県町村議会議長会表彰(升沢博子副議長)(左)

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

